



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 鶴弥 上場取引所 東 名
 コード番号 5386 URL https://www.try110.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴見 哲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 角森 一夫 TEL 0569-29-7311
 四半期報告書提出予定日 2020年2月6日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,559	4.1	427	60.7	439	55.0	294	63.6
2019年3月期第3四半期	6,303	0.6	266	191.8	283	187.0	180	212.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	38.51	—
2019年3月期第3四半期	23.54	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,227	11,430	70.4
2019年3月期	16,373	11,252	68.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 11,430百万円 2019年3月期 11,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	7.50	12.50
2020年3月期	—	7.50	—		
2020年3月期 (予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	8.4	590	111.0	600	100.6	400	252.1	52.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	7,767,800株	2019年3月期	7,767,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	112,916株	2019年3月期	112,874株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	7,654,891株	2019年3月期3Q	7,654,983株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期累計期間における国内経済は、個人消費や設備投資が景気を下支えする一方、中東情勢の緊迫化や、大国間の貿易摩擦による企業活動への影響が表面化するなど、先行きに関しては不透明感が強まってきております。

当業界におきましては、業績に与える影響が大きい持家着工戸数が、消費税増税前の需要拡大によって、当第 2 四半期累計期間 (4 月～9 月) までは前年を上回る状況にありましたが、直近では一転して反動減となり、今後の需要動向を注視する必要があります。

このような経営環境のもと、相次いだ台風による災害を背景に、その補修需要へのきめ細やかな対応、また当社の主力製品である地震・台風に強い防災瓦が新築住宅に多くご採用を頂いた結果、第 3 四半期会計期間 (10 月～12 月) に持家着工戸数の減少があったものの、第 3 四半期累計期間 (4 月～12 月) における売上高につきましては、前年同四半期比 4.1% 増の 6,559 百万円となりました。

損益面につきましては、国際的な原油価格の低下や、継続したコスト削減により当第 3 四半期累計期間における売上原価率は、前年同四半期比 1.3 ポイント減の 71.4% となり、第 3 四半期会計期間に売上高の減少があったものの、売上総利益は前年同四半期比 9.1% 増の 1,878 百万円となりました。また、販売費及び一般管理費におきましては、製品運搬用のパレットの回収・補修・再利用を推進するなどの自助努力によって、前年同四半期比 0.4% 減の 1,451 百万円となりました。

その一方で、昨今の自然災害の増加を受け、被災屋根用の棟養生シート「らく棟シート」を 2020 年 1 月 27 日に発売するなど、屋根周辺分野への研究開発活動を継続し、注力して参りました。

以上により、当第 3 四半期累計期間の業績は、売上高 6,559 百万円 (前年同四半期比 4.1% 増)、営業利益 427 百万円 (前年同四半期比 60.7% 増)、経常利益 439 百万円 (前年同四半期比 55.0% 増)、四半期純利益 294 百万円 (前年同四半期比 63.6% 増) の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第 3 四半期末の資産につきましては、減価償却等による有形固定資産の減少 123 百万円 (前事業年度末比 1.1% 減) 等により、16,227 百万円 (前事業年度末比 0.9% 減) となりました。

負債につきましては、短期借入金 (1 年内返済予定長期借入金含む) の減少 325 百万円 (前事業年度末比 14.3% 減)、長期借入金の減少 50 百万円 (前事業年度末比 100.0% 減) 等により 4,797 百万円 (前事業年度末比 6.3% 減) となりました。

純資産につきましては、11,430 百万円 (前事業年度末比 1.6% 増) となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期累計期間における現金及び現金同等物 (以下「資金」という。) は、前事業年度末に比べて 15 百万円増加し、1,817 百万円となりました。

当第 3 四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は、503 百万円となりました (前年同四半期累計期間に比べ 60 百万円増加)。

営業活動による資金の増加要因としては、主に税引前四半期純利益 439 百万円、減価償却費 170 百万円及び、仕入債務の増加額 101 百万円等によるものです。

一方、資金の減少要因としては、主に賞与引当金の減少額 107 百万円及び、法人税等の支払額 162 百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は、1 百万円となりました (前年同四半期累計期間に比べ 22 百万円増加)。

投資活動による資金の増加要因としては、主に貸付金の回収による収入 24 百万円等によるものです。

一方、資金の減少要因は、有形固定資産の取得による支出 21 百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は、489 百万円となりました (前年同四半期累計期間に比べ 14 百万円増加)。

財務活動による資金の減少要因としては、主に短期借入金の減少額 100 百万円、長期借入金の返済による支出 275 百万円及び配当金の支払額 114 百万円等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019 年 10 月 31 日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位 : 千円)

	前事業年度 (2019年 3 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,814,270	1,829,749
受取手形及び売掛金	2,020,896	2,036,117
商品及び製品	696,382	694,253
仕掛品	47,605	46,690
原材料及び貯蔵品	132,321	147,870
その他	17,809	14,151
貸倒引当金	△6,185	△14,671
流動資産合計	4,723,100	4,754,162
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	1,095,640	1,045,839
土地	9,104,672	9,104,672
その他 (純額)	657,401	583,334
有形固定資産合計	10,857,714	10,733,845
無形固定資産	55,815	44,314
投資その他の資産		
投資有価証券	491,942	489,722
その他	244,947	205,776
投資その他の資産合計	736,889	695,499
固定資産合計	11,650,420	11,473,660
資産合計	16,373,520	16,227,822

(単位 : 千円)

	前事業年度 (2019年 3 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	505,658	565,596
電子記録債務	897,353	954,131
短期借入金	1,900,000	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	375,000	150,000
未払法人税等	125,055	73,391
賞与引当金	216,080	108,609
その他	530,451	601,567
流動負債合計	4,549,599	4,253,295
固定負債		
長期借入金	50,000	—
退職給付引当金	144,178	165,183
役員退職慰労引当金	308,295	309,686
その他	69,390	69,390
固定負債合計	571,863	544,259
負債合計	5,121,463	4,797,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	5,979,919	6,159,851
自己株式	△53,416	△53,434
株主資本合計	11,037,828	11,217,742
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	214,228	212,524
評価・換算差額等合計	214,228	212,524
純資産合計	11,252,057	11,430,267
負債純資産合計	16,373,520	16,227,822

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日)
売上高	6,303,534	6,559,538
売上原価	4,580,891	4,680,662
売上総利益	1,722,642	1,878,876
販売費及び一般管理費	1,456,398	1,451,060
営業利益	266,244	427,816
営業外収益		
受取利息	268	449
受取配当金	14,817	15,540
売電収入	7,981	8,869
その他	21,371	13,010
営業外収益合計	44,439	37,870
営業外費用		
支払利息	11,853	7,553
工場休止に伴う諸費用	6,543	11,460
その他	8,615	7,040
営業外費用合計	27,012	26,054
経常利益	283,670	439,631
税引前四半期純利益	283,670	439,631
法人税、住民税及び事業税	72,162	121,944
法人税等調整額	31,319	22,931
法人税等合計	103,482	144,876
四半期純利益	180,188	294,755

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 12 月 31 日)	当第 3 四半期累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 12 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	283,670	439,631
減価償却費	186,762	170,847
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△667	8,485
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△79,489	△107,471
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,202	21,004
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△19,436	1,391
受取利息及び受取配当金	△15,086	△15,990
支払利息	11,853	7,553
売上債権の増減額 (△は増加)	△104,324	△15,220
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,435	△12,505
仕入債務の増減額 (△は減少)	95,602	101,659
その他	134,076	59,418
小計	496,729	658,803
利息及び配当金の受取額	15,085	15,989
利息の支払額	△13,319	△9,039
法人税等の支払額	△55,600	△162,380
営業活動によるキャッシュ・フロー	442,894	503,373
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24,209	△21,367
有形固定資産の売却による収入	4,660	400
貸付金の回収による収入	-	24,000
その他	△929	△1,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,478	1,952
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△100,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△300,000	△275,000
自己株式の取得による支出	△33	△17
配当金の支払額	△75,740	△114,829
財務活動によるキャッシュ・フロー	△475,774	△489,847
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△53,358	15,478
現金及び現金同等物の期首残高	1,806,961	1,802,270
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,753,602	1,817,749

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

当社は、粘土瓦の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。